



会場あふれる400人が結集

3・31老朽原発たちに廃炉! 美浜全国集会に参加して(1)

地震大国のこの国で

原発事故もこのままでは待ったなし

元日に起きた地震では岐阜県土岐市に住んでいます、ゆっさゆっさと揺れる長周期

地震動を感じました。3・11の時も同じような揺れでしたので、どこかで大きな地震が起きているな、若狭でなければいいのにと心配しました。老朽原発が動いています、名古屋や岐阜県は冬になれば若狭から吹く風の、風下に当たりますから。急いでラジオのスイッチを入れたら能登半島で大きな地震と報じられていました。大きな地震があると原発は大丈夫かと、そのたびにとても心配しますが、これら、そうとうに、ウザい! 不幸中の幸いで、能登半島地震では、深刻なトラブルはあったものの、原発過酷事故

は免れました。地元の人たちの素晴らしいがんばりによって志賀原発は止まっています。たし、珠洲原発はできませんでしたので、感謝の気持ちでいっぱいです。でも、あんな地震が若狭を襲ったらと思ったら、やっぱり止めるしかないなど。井戸弁護士や北野進さんの話も聞きたかったこともあって「老朽原発たちに廃炉! 美浜全国集会」に参加しました。井戸弁護士の話で海岸の断層と陸の断層が連動したことや、北野さんの話で被災地の状況が良く分かりました。本当に地震も原発事故もこのままでは待ったなしだと痛感しましたが、デモで通過した関西電力の原子力事業本部の様子では緊張感皆無で、本当に大丈夫と思っているのかしら? それとも恐怖感が無い

老朽原発 うごかすな! ニュース

第121号 発行・老朽原発うごかすな! 実行委員会

【連絡先】 090-1965-7102

の? とにかくこの国は地震大国です。いつでもどこでもどんな地震が起きるのかは誰にも分からないのが最新の知見なので、原発は皆で止

めるしかないのです、これからもできる限り参加するつもりです。(岐阜県土岐市 早川しようこ)

3・31老朽原発たちに廃炉! 美浜全国集会に参加して(2) 右翼の街宣はねかえし 400人が怒りの声

今回、神戸のJR兵庫駅からバスが出る案内があり、8時に出発して3時間で順調に美浜に到着した。美浜の「はあとホール」には、初めて参加したが、400人が結集すると手狭な感じでした。冒頭に、能登半島地震で亡くなられた多くの方へ黙とうを捧げた。司会は山本貴美子さん(敦賀市議会議員) 主催者挨拶・中寫哲演さん(原子力発電に反対する福井県民会議)からは、電力資本に配慮した不当な判決だ。6月9日の次の闘いへ、今日を新たな出発点とすると訴えた。特別報告「老朽原発運転差し止処分について」元裁判官の井戸謙一弁護士が、関電の主張を追認しただけの判決

冒頭に、能登半島地震で亡くなられた多くの方へ黙とうを捧げた。司会は山本貴美子さん(敦賀市議会議員) 主催者挨拶・中寫哲演さん(原子力発電に反対する福井県民会議)からは、電力資本に配慮した不当な判決だ。6月9日の次の闘いへ、今日を新たな出発点と



デモをする福井など先頭のグループ

を痛烈に批判した。今回の能登半島地震では、2828ガルの揺れを計測しており、美浜3号機には993ガルの地震動しか来ない証明を私たちに求める不当な決定だと弾劾した。

仮処分は、裁判官にとってハードルが高いのはわかるが、地震は誰にもわかってない。とりわけ老朽原発では、配管

170km、ケーブル1700km、溶接箇所65000。劣化管理はできない。地震の経験に学ぼうとしない決定は、極めて残念とした。

その後、美浜、高浜仮処分申立人の福井地裁、大阪高裁



関電原子力事業本部に怒りのシュプレヒコール

の林、山本、中寫さんが壇上からアピールした。

北野進さん(志賀原発を廃炉に！訴訟原告団長)、草地妙子さん(老朽原発40年廃炉訴訟市民の会・名古屋)の訴えに続いて、全国から寄せられたメッセージが紹介された。

集会宣言を採択後、400人での町内デモに出発した。

3・31老朽原発たちに廃炉！美浜全国集会に参加して(3) バスの中での交流に盛り上がり デモで地元の人たちとも繋がった

3月31日(日)老朽原発たちに廃炉！美浜全国集会に奈良から26名で参加しました。福井県での集会参加となると結構なハードルですが、今回はマイクロバスを借切り、気合を入れメンバーを募集。

ふたを開けてみると定員いっぱい(26名)も申し込みがあり、補助席も出してパンパンの状態でした。

朝8時10分JR奈良駅集合、近鉄新大宮駅経由で現地へGO！運転手2名体制で、

今回、暴力団まがいの右翼の街宣車が登場し、大音量で「原発賛成！」などがなり立てた。大阪のデモでも右翼の妨害があるように、GX法以降、原子力ムラ救済へ原発が主要な政治課題になってきたのかもしれない。

(高砂市 三木鎌吾)

完璧な段取りでした。コロナ禍もあり、私たちの世代はマイクロバス等を使つての企画に慣れなく、昔からの各種運動を支えてこられた先輩方の存在と経験は力強く頼もしい限りでした。

バス内では、マイクを回して自己紹介と今企画の参加動機などを共有し、楽しいものでした。様々な経歴の方が、違った視点で自己紹介され、原発問題だけでなく、日本社会の色々な問題が自由に語ら



講演する井戸謙一弁護士

れ、大きな意味で原発問題を再確認する事もできました。弾丸ツアーなので参加者の体調にも配慮があり、途中サービスエリアでの休憩では整体師の方のミニストレッチと健康講座がありみんなでワイワイ体をほぐしました。お昼前に現地に到着。集會会場に行く前に丹生(にゆう)公園から、目の前に見える美浜原発の解説をして頂き、原発に向かつて「ただちに廃炉！」のシュプレヒコールを上げました。

集會の詳細は紙幅の関係上他の報告に譲りますが、やはり現地で聞く現地の方々の報告は迫ってくるリアル感が違いました。特に能登半島地震災害の報告はすぐ隣の県で起こっている事実であり、原発を抱えた現地での受け止めは深刻でした。

集會後、全員で美浜町内をデモ行進し関電原子力事業本部前で申し入れと抗議行動。右翼の執拗な妨害もありましたが、手を振って応えて下さる現地の方もおられ、現地での行動の意味を再確認しました。疲れはしましたが、SNS隆盛の時代に、実際に集まって行動を共にする大切さを実感出来た弾丸ツアーでした。

(原登セロ・奈良のつどい実行委員会共同代表 松本俊二)

3・31会場カンパのご報告

281,475円もの会場カンパを寄せていただきました。心から感謝申し上げます。